

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	しもなだ運動公園管理運営事業	会計名称	一般会計		担当課	都市住宅課	
		予算科目	8 款 5 項 2 目	事業番号	3758	所属長名	三谷陽紀
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	小寺卓也	
法令根拠等	伊予市公園条例				実施期間	【開始】	令和/平成 20 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 住みやすい都市空間づくり					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	スポーツに親しめる環境づくりに努める。						
事業の対象	しもなだ運動公園利用者			事業の目的	だれもが身近にスポーツに親しめる環境づくりを目指して、施設の整備及び維持管理を行なう。		
事業の内容 (整備内容)	しもなだ運動公園の維持管理運営			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
直接事業費	5,817	5,382	0	0	0	5,227	光熱水費	千円	1492	1824	692	1642
財源内訳	0	0	0	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	1,407	1,420	0	0	0	1,218	修繕費・工事請負費	千円	1553	754	165	819
一般財源	4,410	3,962	0	0	0	4,009						
職員の人工(にんく)数	0.40	0.40				0.40	委託料	千円	2408	2406	455	2392
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	9,010	8,579				8,424						
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)				有料施設利用者数	人	27894	24350	7817	15720
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年間の合計		
					6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	30,000		
成果指標	指標	今年度の利用人数÷過去2年間平均利用者数			単位	区分年度	前年度	1年度	2年度	目標 毎年度		
	指標設定の考え方	スポーツ活動の環境づくりを目指すためにも、施設の利用者数増が事業の評価と考えた。			⇒	目標	1.01	1.01	1.01	1.01		
	指標で表せない効果					実績	0.82	0.65				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		公園の遊具や体育館等が老朽化しており、計画的に施設の更新を実施する必要がある。									
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点	グラウンドの側溝に溜まった土砂の清掃及びネット補修を職員で実施し、経費削減を図る。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	3						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が	A				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進に向け、効果を認めることができる。	4						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	A	事業の苦勞した点・課題	老朽化した施設を計画的に平準化した予算にて更新を図る必要がある。			
		コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	4							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が			B	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する</li> <li><input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) 主に地域の住民が利用する施設で、適正な維持管理を行なう必要があるため。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	3						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が	A					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進に向け、効果を認めることができる。	4							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	A	所属長の課題認識	適正な維持管理を行ない、利用環境の維持に努める必要がある。				
	コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3								
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	4								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 防災拠点漁港内にある当公園だが、令和2年度は農林水産課において臨港道路液状化対策工事が施される予定であるため、利用者とのトラブルが発生しないよう連携をすること。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。		